カモシカ対応運動　実践（参考）様式 ＜統合 ver.＞

○　カモシカ対応運動スローガン　○

～　みんなで考え　みんなで実践　会社、団体、地域をあげて広がる　安全職場の輪　～

「転倒」、「はさまれ・巻き込まれ」及び「墜落・転落」の“３つの型”の撲滅を目指して、事業場における日常の作業行動に関連して**「起きるかもしれない」、「もしかしたら起こり得る」**などの危険要因に対して、その要因が生じた場合の対応を考えてみよう！！

また、対応については「事業主」、「安全スタッフ」及び「労働者」のそれぞれの立場で「何をすべきか」を考え、必ず実行に移し、徹底するよう労使一丸となって取り組み、安全・安心の輪を広げよう！！

【想定される事象（カモシカ事例）】		
（例）もしかしたら、□□（作業）中、○○して…△△（「事象（例：転倒など）」）するかもしれない。”		
想定された事象への対応（カモシカ対応）	工場長（事業主）	（※工場トップとして、自ら何を行うべきか、管理者、労働者に何を指示すべきか　など）
	安全管理者（安全スタッフ）	（※安全スタッフ及び管理者として自ら行うべきこと、事業主や部下〔労働者〕との連携　など）
	職　長・リーダー（安全スタッフ）	（※職長等として自ら行うべきこと、職場のキーパーソンとして行うべきこと　など）
	作業員（労働者）	（※労働者の立場からできること、気をつけること、ルールや作業手順を守って実践すること　など）

安全行動スローガン（会社スローガン・重点実施事項…）